

韓国環境部プレスリリース 2020年2月7日付

### 京畿道の野生いのししから ASF ウイルス検出（野生いのしし 170 例目）

<http://www.me.go.kr/home/web/board/read.do?pagerOffset=0&maxPageItems=10&maxIndexPages=10&searchKey=&searchValue=&menuId=286&orgCd=&boardId=1305335&boardMasterId=1&boardCategoryId=&decorator=>

□環境部所属国立環境科学院(院長チャン・ユンソク)は京畿道（キョンギド）漣川郡（ヨンチョングン）の民間制限線中で発見された野生いのししの死体から ASF ウイルスが検出されたと 2 月 7 日明らかにした。

○ 2 月 6 日漣川郡で発見された死体は軍人によって山で発見された。漣川郡は野生いのしし ASF 標準行動指針により試料を採取して現場消毒と共に死体を処理した。

□国立環境科学院は 2 月 7 日野生いのししの死体から ASF ウイルスを検出したことを関係機関に通知した。これで漣川郡では 49 件の野生いのししの ASF 陽性事例となり、全国的には 170 件になった。

□国立環境科学院生物安全研究チーム長は“今回発見された死体は民間制限線内 2 次フェンスの中で発見された”として、“この地域で他にも死体があるか、軍部隊と協力して搜索を徹底する”と話した。

以上